

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス事業所菊池園		令和 7年 4月 4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切なスペースを確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		規程の人数を配置し、更に利用者の支援度が高い時は職員を多く配置している。	今後、職員の急な休みや長期の休みになった場合の対応策を検討していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーな環境が整っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日サービス提供終了後に清掃、玩具の消毒を行っている。宿題や活動等、目的に合わせた空間を設けている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室を設けており、必要に応じて提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングを活用し全職員より意見を聞いている。ミーティングに参加できない職員に対しては、申し送りツールにて意見を聞いている。	申し送りツールを活用しているが、長期休暇等はミーティングの時間を設けることが難しいため、不十分である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			アンケート結果をもとに今後の業務に反映していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや定期的な会議内で幅広く意見を聞いている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価はしていない。今後検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		児童支援については研修案内をもとに受講している。法人内の研修では幅広い分野の研修を受講している。	サービス提供提供時間内での研修もあるため参加が難しい。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で協議し支援プログラムを作成、法人ホームページ内で公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ご家族やご本人のニーズをもとに個別支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎日のミーティングで個別支援計画について意見を出し合っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画作成後に職員間で共有し、すぐに計画が確認できるようにパソコン内、紙媒体で保管している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートの改善を行い、活用している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、目標を設定し、必要な支援の項目を設定している。	まだまだ力不足を感じているため、スキルアップを図っていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当者が提案した内容を事前に全職員で確認し、意見を出し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者に合わせて内容を工夫し、計画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者に合わせて対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		長期休暇中はミーティングの時間を設けることが難しいため、事前に掲示し確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援当日に打ち合わせができないこともあるため、振り返りや反省を記録に残し、翌日に共有、話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用記録、個別支援の記録を行い、支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの総則を踏まえ、それぞれの特性に配慮しながら自立支援や創作活動の実施を個別や集団で対応している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		各々が主体的に選択できるよう配慮し、好きな遊びや過ごし方ができるような環境を整えている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が事前にその子の状況を職員に聞き取り会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		情報共有や連絡調整を行い、統一した支援を行えるよう努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		主に書面をベースに行っている。学校迎え時にその日の状況を伺い支援に活かしている。必要に応じて学校見学や情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		契約時にご家族より保育所や療育機関の計画や評価等、情報を頂き理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サービス担当者会議内で支援内容等の情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修に参加し、必要に応じて助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		自治体主催の交流会に参加し、地域のこどもと活動する機会を設けている。	自治体主催の交流会のみの参加だったため、今後、地域のイベント等の参加を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域自立支援協議会のこども支援部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時に当園での様子をお伝えしている。気になることについてはお電話等でお聞きし情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後検討していく。研修等で職員のスキルアップを図り専門性を高めていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时、契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご家族やご本人の意向を尊重し作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメントに基づいた個別支援計画を作成している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			随時相談に応じ支援方法を検討しているが、具体的な部分については専門機関より助言等をいただいている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等は開催していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所に苦情解決窓口を設けている。また、契約時に第三者委員や行政機関の窓口説明を行っている。訴えがあった場合、迅速、適切な対応に努め、必要に応じて保護者や関係機関等と共有を図る。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月活動予定を配布し、写真付きで活動内容を紹介している。また、不定期ではあるが、法人内の機関紙に記事も掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットに保管し、業務終了後に施錠している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもが発するサイン等をご家族に伺い、絵カード等を用いて意思疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○		以前は法人主催で地域の方を招待する行事を開催していたが、コロナ流行後は開催していない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルを策定し職員に周知しているが、ご家族への周知ができていない。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人全体の業務継続計画に基づいて、事業所内で定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時にご家族からお聞きしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家族からの報告のもとに記録を作成、全職員に周知し対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画の内容に基づいて研修や訓練、点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族へ紙媒体で安全計画を配布し、周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		常時ヒヤリハットを作成、報告し、対応策を立てミーティング等で振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年法人内での研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		該当者がいないため未実施。毎年法人内の研修に参加している。